

令和 6 年度 南田中図書館 利用者懇談会

1. 日時 令和 6 年 10 月 31 日 (木) 13 時 30 分～15 時
2. 場所 南田中図書館 2 階会議室
3. 参加者 利用者 6 名
図書館 3 名 (南田中図書館長、館長代理 2 名)
4. テーマ 「南田中図書館に期待するサービス」
5. 配布資料 (1) 南田中図書館利用者懇談会～南田中図書館に期待するサービス～
(2) 令和 6 年度 南田中図書館事業一覧
(3) これからの図書館構想 (概要)
(4) 図書館だより (10 月・11 月)
(5) 家読ノート
(6) 利用者懇談会アンケート
(7) イベントチラシ 2 枚
6. 次第 (1) 南田中図書館長挨拶
(2) 職員照会
(3) 参加者自己紹介
(4) 事業紹介
(5) 懇談

南田中図書館利用者懇談会 議事録

1. 館長挨拶

それでは、お時間になりましたのではじめたいと思います。本日はお忙しい中、南田中図書館の利用者懇談会にご出席いただき誠にありがとうございます。館長の高橋と申します。始まる前に、懇談会についてですが、こちらの懇談会は練馬区立図書館全館で毎年 10 月の読書習慣に合わせて、各館の館長が主催する懇談会を行っており、地域のご意見やご要望をおうかがいして図書館で協議し、ホームページ等で改めてお伝えするものとなっております。他の館の議事録も掲載されておりますので、もしよろしければご覧になってください。昨年に引き続き南田中図書館では、「南田中図書館に期待するサービス」というテーマで、懇談会を行っていきたいと思います。南田中図書館独自でお答えできない、区立図書館全体に関するご意見につきましては、全体を統括しております光が丘図書館で調整して、ホームページで改めて回答させていただく場合がございますので、予めご了承ください。光が丘図書館の懇談会は 11 月 22 日 10 時～12 時を予定しております。定員もでございますので、ご興味のある方は、まず光が丘図書館にお問合せいただければと思います。

2. 配布資料確認

3. 職員紹介

4. 参加者自己紹介

5. 事業紹介

資料1～3を参照しながら、令和6年度南田中図書館で実施した事業の一部を図書館構想のコンセプトに沿って紹介。

コンセプト1：「世界の知と出会い 学びを豊かにする」

- ・映像を通してSDGsを考える ・南田中ワイワイ自然塾 ・武井武雄展
- ・矢後勝也博士講演会 ・子ども向けお芝居「さるかにがっせん」
- ・トイレットトレーニング
- ・身体を使ってイキイキ脳活！ 誰でもできる「シナプソロジー®」
- ・児童施設/高齢者施設向け出張おはなし会

コンセプト2：「練馬の文化を継承・発信する」

- ・「井のいち」、「ちやが馬七夕」への参加

コンセプト3：「知が交わり、想像を生み出す」

- ・子育て交流会 ・南書会 ・家読

コンセプト4：「情報へのアクセスを支援する」

- ・こくりプログラミングワークショップ

その他

- ・図書館を使った調べる学習コンクール ・1日ラジオ放送局 ・ユースサポーター
- ・学校支援・いわさきちひろ美術館との協同事業 ・短歌講座「100分で短歌」

6. 懇談

図書館 それでは懇談に入りたいと思います。「南田中図書館で期待するサービス」ということとお話を進めていきたいと思いますが、それ以外でもご紹介したイベントについて質問などございましたら、お願いいたします。

利用者 ユースサポーターの活動は、どんなことをやっているのですか。

図書館 中高生が対象で、図書館の事業をお手伝いしたり、自分たちで考えてイベントを実施したりする活動を行っております。毎月1回、定例会を行っておりまして、お手元の資料の写真は今回ユースサポーターが企画して行った「カードゲームの会」のイベントに向けて、自分たちで予行演習をやってみて、どうしたら参加者さんがやりやすいのかをみんなで考えているところです。あとはおすすめ本のPOPを書いて展示したり、一日図書館員という毎年行っているイベントのお手伝いで、小学生たちを案内する役目も担ってくれたりしました。それからビブリオバトルにも積極的に参加して、一般の参加者さんとバトルを楽しんでくれています。あと、年末と夏休みに福袋を自分たちで作成しています。

利用者 「家読（うちどく）」というのは、こういった取り組みですか。

図書館 家庭読書の略で、家族で本を読んで、感想などを共有する取り組みです。朝読書に次ぐ取り組みとして言われていて、全国的に広まってきているようです。

まだあまり知られていない印象ですが、子供読書活動推進計画という練馬区が策定している計画にも「家読」という文言ではないのですが、家庭読書を推進する項目があり、文科省が出している「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」にも「家読」という項目が入っていて、大事な取り組みとなっています。練馬区では南田中図書館が初めての取り組みとなります。ちなみに、今年度の夏休みからスタートして、カウンターで（家読ノートを）配布をしています。家読ノートが324冊配布されております。スタンプラリーもあわせて行っていて、家読を行ったらスタンプを押して、スタンプを5個集めると景品がもらえるようになっているのですが、なかなか完成品を持ってきてくれるところまで繋がらなくて、悩んでいるところです。

利用者 景品はなんですか？

図書館 家読ノートをアルバムのように保管しておけるバインダーをご用意しております。「子どもが小さいころにこんな本を読んだな」とか「あの頃、こんな本と一緒に読んで話したな」という思い出になるように家読ノートを保存できるバインダーにしました。あと継続して取り組んでたくさん挟んでくださるようです。実は、私が前に勤めていた図書館でも自治体で1番最初に家読を始めたのですが、その時もノートの配布は進みましたが、ノートの完成品を図書館に持ってくるまでがなかなか難しく苦戦しました。

利用者 アイデアとして、とてもいい景品なのに、難しいですね。

利用者 ブックリストがとても良いと思います。リストが欲しいです。

家読ノートは本を2冊読んで持ってくるのですか。

図書館 ブックリストはカウンターで、どなたでもお持ちいただけるようになっております。家読ノートについては、いろいろな使い方があって、1冊の本を3～4人で読んでも良いですし、本の情報を書く場所が2つあるので、1冊の本を例えばお父さん、お兄さんで読んで感想を書き。もう1冊の別の本をお母さん、妹さんで読むなど、自由に使えるようになっているので全部埋めなくても、図書館に持ってきてくださったらスタンプを押します。

利用者 家族が中心かと思うんですけど、グループでも良いと書いてありましたが。

図書館 公共の図書館は様々な方が利用されるので、家族と離れて一人暮らしをしている方でも参加していただけるように、間口を広げています。例えば職場の同僚や友達といった家族以外のグループでも参加できるようにしています。

利用者 もしかすると、知らない人に自分が薦めた本を読んでもらって家読ノートを書いてもらって、図書館にきたら「あっ」って思うのも良いのかなと思います。家

族だとその場でわかってしまうので、書いた家読ノート置いておいたら、それを見た誰かが書いてくれるような。

図書館 ありがとうございます。家読は来年度も実施予定なので、ぜひ取り入れてみたいと思います。

利用者 図書館にそれが置いてあると、図書館にも足を運びたくなるのではないかと思います。

利用者 先日、他の自治体で読書週間のワークショップに関わったんですけれども、「積読（つんどく）」ってあるじゃないですか。買ったけれども読まずに置いてある本。初めてここで家読ノートを見た時に、「積読」と絡めたら面白いのではないかと思います。一人ではなかなか読めないけれど、グループだと挫折しないのではないかという意見がワークショップの時に出て。ある課題図書を見て、それを「積読」中の人を参加者にして、その本をみんなで読めば、読めるかもしれない。そういうグループ制の話をしておりまして。「家読」ではなく「積読」状態を楽しむ、楽しく読了するための話が出た時に、どうしても読書は一人でするもので、孤独の「独」書になりやすいので。そういうグループ制で「家読」と「積読」のハイブリッドができれば面白いのではないのでしょうか。ぜひ実施してほしいというよりは、そういう話題が先日出たので話題提供としてです。

図書館 ありがとうございます。誰かと一緒に読むと、諦めないで最後まで読めそうな気がしますね。ちなみに、今のところ、324冊ノートが配布されているのですが、先日学校司書さんと懇談する機会もありまして、そこでも家読の紹介をさせていただいたところご興味をもっていただき、懇談会に参加した支援校に合わせて850冊の家読ノートを配っております。なので館内で配布したものと合わせて1,000冊以上配布しております。

利用者 全ての支援校に配ったのでしょうか。

図書館 ご都合が悪くて懇談会にいらっしゃらなかったところもあり、すべての支援校に配布はできておりません。

図書館 お隣の南田中小学校さんは、全校生徒に配るということで500冊配りました。

図書館 南田中小学校さんは読書週間の課題として、家読ノートを配布していただいて、他の学校さんは参加してくださる学年単位やクラス単位で配布したり、図書室などに設置してくださるということでした。

利用者 12月末は全館お休みになるんですよね。26日から…

図書館 ご不便をおかけし申し訳ございませんが、26日から1月の13日まで図書館システムの更新のためお休みいたします。

図書館 数年に1度、図書館のシステムを入れ替えるタイミングがあるのですが、今年がその入替のタイミングになりまして、年末年始を挟んで長い休館に入ります。

ホームページも使えないので、お気を付けください。

利用者 本を借りる期間も、その分を除いてということになるのでしょうか。

図書館 長く借りられる期間になります。図書館スタッフもその期間中システムを使用できないので、外部施設で出張おはなし会を予定しております。

利用者 イベントはどのように決めているのですか？

図書館 図書館構想や先程の（子供読書推進）計画などを元に計画しているのですが、今年度は利用者さんから持ち込みの企画もありました。お手元の資料にあります「100分で短歌」というイベントも利用者さんからお声がけいただいて実現した事業です。第1回目は終了しているのですが、第2回、第3回も予定しております。あとは、時期は未定ですが実施予定の「英語のおはなし会」も、声をかけてくださって、現在、話を進めております。

利用者 英語のおはなし会の対象はどのくらいのお子さんですか。

図書館 乳幼児ぐらいを検討しています。これも子供読書活動推進計画の方にも「日本語を母語としない児童に対するサービス」という項目がありまして、英語のおはなし会や、多言語のおはなし会についても、図書館の取り組みの1つとして挙げられていて、ちょうど南田中図書館では英語のおはなし会や多言語のおはなし会は実施していなかったもので、どうしようかと悩んでいた時にお声掛けをいただいたものになります。

利用者 言葉が日本語ではない方たちは図書館を使うのは難しいですね。

図書館 外国語で書かれている本も多くはないですが置いてあります。以前勤めていた館では多言語おはなし会というのもやっていて、インターンでスクールに通っている生徒たちが、中国語や韓国語、ドイツ語、スペイン語等いろんな国の言葉で『はらぺこあおむし』を読んだり、その国の手遊びをしたりしていました。本としては、蔵書全体の数パーセントしか外国語の本はないんですけど、そういった取り組みも進めていけたらと思っています。

図書館 補足すると、南田中図書館にも日本語とその他の言語で同じ内容が併記して書いてある本があるのですが、日本語を勉強されている方が、両方の言語で書いているものを読みながら日本語を勉強したいというご相談などもあります。なのでそういう方はたまに来館されるかなという印象ですね。

図書館 外国から来た友人に日本のことを紹介したいという問い合わせあり、洋書をご案内したこともあります。

利用者 利用者から講座を持ち込まれた時は、報酬はあるのですか。

図書館 ケースバイケースです。

図書館 以前に勤めていた館では、落語のサークルが寄席をしたいということで、毎年

3回～4回の実施をしていました。落語は練習をしないと忘れてしまうので、やる場所が欲しいということでした。

利用者 練馬区も落語が盛んですしね。年を取ると寄席へ行くのはちょっと大変、という人たちにとっては、やはり身近なところで聴けたら良いですね。

図書館 図書館で実施するのにはそういうメリットもあります。アンケートでも「近くの図書館でやってくれて嬉しい」という声をいただいて、大変好評でしたし、去年は南田中小学校の体育館をお借りしてコンサートも行いましたが、都心の大きいホールまで行くのは難しいけれど、身近な図書館で聴けるというのが良いのかと思います。

利用者 図書館と学校が共催で行ったのですか。

図書館 学校は場所の提供をしてくださいました。

利用者 若手の落語家さんは、とにかく数をこなして練習をしたいと思います。練馬区は落語家さんが多いので、練習でというので良いと思います。

図書館 今年度、落語の中にでてきた言葉や時代背景を解説してもらうという講座を企画しております。子供たちに落語に興味を持ってもらいたいということで、企画しています。

利用者 CDもあるけど本当はDVDが良いんですけど。聴くだけだと所作とかはわからないので。

図書館 練馬区は光が丘図書館でしたらDVDのお取り扱いがございます。

利用者 落語の世界もそうですが、今の子は現代の生活と昔話、落語の時代の生活がかけ離れてしまっていて、想像してもらうことが難しくなっています。日本の昔話よりも外国の昔話の方がイメージしやすくなっているのが悩みで。なので、落語の解説をするというのとても良いと思います。

利用者 練馬区ふるさと文化館でサポーターをやっております。古民家を案内していて、幼稚園くらいの小さい子から「火って何ですか」と聞かれたことがあります。

利用者 マッチを使ったことがない子供も多いですね。マッチにすごく興味があって、珍しがります。ろうそくを消すことが難しかったり。

図書館 文化を継承していくのも図書館の役割としてあって、伝統芸能などは先程おっしゃっていた通り、本だけで所作など伝わり切らない部分もあるので、引き続き体験できるような事業も行っていけたらと思います。

利用者 この前もここでおはなしをしたのですが、下駄もくわもわからないので、絵を描いて見せて説明をしたんです。昔はみんな家にひょうたんやへちまがあったけれど、今はひょうたんやへちまもわからないので。それがわからないとお話が續かないので、そういった場合には絵を描いて見せて、というようにしています。

図書館 小学校で昔の暮らしを学べば少しはわかるんでしょうけれど、そのくらいの年

齢だと、お外に遊びに行きたかったりで、なかなかおはなし会への参加が難しくなってしまうて。

利用者 「昔の暮らし」は3年生の冬にやる单元ですね。あと、ふるさと文化館では井戸で水を汲むのは特にみんなやりたがります。子ども達より先生が興味持っていたりとか。今の生活は便利になりすぎてしまつて。

利用者 この図書館には防災用の井戸はないのですか。

図書館 図書館に井戸はないのですが、近くの観蔵院さんには井戸があります。

利用者 ふるさと文化館では、水道水を水槽に貯めてポンプで出すんです。あそこは遺跡公園で、60cm 以上は掘れないので、水槽に水道水が自動で流れ込むようになっていて、ポンプで出すという仕組みに。

利用者 お百姓さんのお家があるので、井戸があるお家もあるだろうけれど…。防災拠点として、何か体験があるといいかもしれないですね。

図書館 図書館は一時（いっとき）避難所にはなっていますが、長期間たくさんの人が寝泊まりできる場所ではないので、そうすると学校さんの方が多いかと思ひます。

図書館 図書館は24時間以内の避難しか想定されていないので、泊まることはできないんです。災害が起きた時点でこの近辺にいた人が避難してくるところなので、普通の避難所のように仕切つて布団を出してみたいなことはないので、そうすると近隣の避難所に移動してもらうということになります。この近隣だと隣の南田中小学校などが避難所になっています。

利用者 バリアフリー映画は講演会か何かですか。

図書館 バリアフリー映画は、目の不自由な方や耳の不自由な方でも映画が楽しめるように、音声ガイドや、情景を説明する字幕やセリフの字幕がついている映画を上映します。関係団体がこども向けに、初めてのバリアフリー映画ということでやってくれるイベントで、2月にも一般向けの上映会を予定しています。一般のDVDは映像にガイドがついているものが多いのですが、このイベントでは弁士の方がいらして、その場で声をつけてくださることになっています。

図書館 補足すると、「バリアフリーえいがって何だろう」は、子ども向けにバリアフリー映画が何なのかを知ってもらうイベントだったので、いろいろ音声をつける体験も行っていました。

図書館 実際の場面を流して、その1場面ガイドを付ける体験をしました。実際の物よりだいぶ簡略化したものではあるのですが、マイクで実際にその場でアテレコしてもらうという体験も行いました。

図書館 前回の懇談会では、図書館の外にベンチがあるといいという意見がありました。が、他にも図書館にこんなものがあつたらいいというご意見などがありますか。

利用者 グループで打ち合わせをする機会があったのですが、公園口にイスがあつて（リサイクル図書が置いてあるところ）、そこなら少しお話しても迷惑にならなくて良いと思いました。夏場は涼しいですし、今はたまにそこをベンチの代わりに使っています。

図書館 以前からイスの設置はされていたのですが、コロナでしばらく図書館内のイスの使用制限をしていました。それを再開して飲食コーナーということで、正面口側のお手洗いの前と南側の公園口のイスは飲食ができるようになっています。

利用者 飲食をしても良いのですか。

図書館 飲食コーナーのみ、館内で飲食しても大丈夫です。

利用者 会議室で声を出しても漏れないのか気になりました。

図書館 多少であれば大丈夫ですが、先日行ったお芝居の劇団の声出し練習ではダメでした。落語等は大丈夫でした。

利用者 でも会議室の外は児童のコーナーですし、多少は声が聞こえても大丈夫なのかなと思います。

図書館 そうですね。あとはおはなし会など会議室内で何をやっているのかがわかった方が良いものはドアを開けてカーテンにして、少し声が聞こえるようにすることもあります。覗きにきてくれて、そのまま参加してくださることもあるので、あえてドアを開けるということもしています。

利用者 ドアを閉めていると中に入りづらくなってしまうけれど、カーテンや簾だと何をやってるのかなと覗いてそのまま入ってくれることもありますし、良いですよ。

図書館 以前はおはなし会を、ドアを開けてカーテンを閉めきった状態でやっていましたが、やはり中の様子が見えないので、今年度の途中からカーテンにして、中の様子がすぐにみられるようにしたら、ちょっと出入りがしやすい雰囲気になり、それでおはなし会にお客さんが来てくれるということがあったので、多少声が聞こえる、様子が見えるというのも良いのかなというふうに思います。

利用者 子育て中のお母さんが自由にしゃべれる場が欲しいという意見も聞いたことがあります。

図書館 以前いた図書館では、赤ちゃんタイムという時間を設けて、会議室を開放して、ボランティアさんもその場にいらっしゃって赤ちゃんを見てくださって、その間に保護者の方は館内を見てもいいですし、保護者同士で雑談して情報共有や交流ができる時間をつくっていました。そこで交流ができて、連絡先を保護者同士で交換して、赤ちゃんおはなし会と一緒に誘って、来てくださるということもありました。なので、そういう取り組みも需要があるのかなと思います。

今度、南田中図書館でも保育付きブックタイムというものを開催します。赤ちゃんを見ているのでその間に、館内で保護者の方がゆったり本や雑誌を読んでもらうという時間を設ける予定になっております。すでに満員になってしまいました。

利用者 貫井図書館でも開催していますよね。

利用者 お母さんはいつも子どもがそばにいて、赤ちゃんにつきっきりになりがちなので、ちょっと雑誌などを読む時間は大切だと思います。気分転換の時間は大切。

図書館 今年度から図書館でやり始めているので、今後は広がっていくのではないかと思います。男女共同参画センター「えーる」と共催です。

利用者 わらべうたや字がない本も見せながら、というのも良いですね。

図書館 そろそろお時間ですが、他に質問やご意見がございますでしょうか。

日頃から図書館の運営にご協力いただき、ありがとうございます。地域の方のご意見に耳を傾けながら発展していけたらと考えていますので、今後とも忌憚のないご意見をいただければと思います。懇談会以外でもお気軽にお声掛けいただけたらと思います。本日はお忙しい中、懇談会にお越しいただき誠にありがとうございました。